資料２

将来都市像について

将来都市像案の変更

■令和８年３月 18 日　市議会全員協議会時点の将来都市像案

案１　自然あふれるハイレベルな田舎まち　幸福度№１　とわだ
案２　～幸福度№１～　自然あふれる上質な田園都市　とわだ

＜市民の思い＞
・ハイレベルな田舎まち：生活の質が高く、優しさもあるまち
・上質な田園都市：多様な都市機能と自然が調和し、持続的に発展していくまち

■市議会全員協議会後の対応
・案１、案２は、いずれも、市民の意見を可能な限り取り入れた“まちの姿”を客観的に表したもの。
・全員協議会や市民会議において、両案に対し様々な意見をいただいており、両案に込められた市民の思いのどちらか一方を選択することは、極めて困難と判断。
⇒両案に込められた市民の思いを包含し、そこに、**市民が主役となって輝く意味を込め**、私たちが暮らす**“まち”**も生活する**“人”**も一緒になって、**未来に向けて躍動する姿を表す**将来都市像とした。

■変更後の将来都市像案

～幸福度№１～　自然あふれる煌（きら）めくまち　とわだ

ポイント：まち、ひとの挑戦、成長

田舎すぎず都会すぎないハイレベルな田舎まちとも言える現在のまちが、優しさの感じられる田園都市として発展し、そこに暮らす市民一人ひとりが主体的に挑戦し光り輝くことで、まちも人も共に成長し続けるという思いを込め、**「煌（きら）めくまち」**と表現。

